

広袴便り

広袴町内会
会報第17号

発行日
平成21年6月13日

発行責任者
広袴町内会
夏目義久



会長就任のご挨拶

夏目 義久

この度広袴町内会長を仰せつかりました夏目でございます。

この広袴町内には人格、識見共に優れた有能な方が多数おられる筈で、何度かお断りさせて頂きました。が、会長選考委員会の小林委員長以下委員の方々から再三のご依頼があり、最終的には終の棲家と決めて移り住んだこのご町内のために、多少なりともお役に立てればと思うに至り、お引き受けした次第でございます。



微力ながら一生懸命任事を全うするつもりでありますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。最初申し上げるべきことは、この町内会は、歴代の会長さん、役員さんの

ご尽力によってほぼ形作られてきたということ、とりわけ上杉前会長の精力的なご活躍によって新しい試みがなされ、実績が上がってきたことは皆様ご承知のとおりでございます。ここに改めて謝意を表したいと思います。

次に、私の町内会に対する認識と、今期の運営に対する思いを述べさせていただきます。

ご存知のとおり、わが町内会の特徴は、代々この町に住んでこられて地域の伝統、文化を育んでこられた方々と、私のようにこの数年位前から移り住んできた多くの方々とで構成されているということと、高齢化が進む他地区とは異なり、子供の声が絶えない貴重な若い町であるということとです。そして、古くから住んでおられる方々の間には、それなりのコミュニティが形成されているけれども、会員の大半を占める新しい方々は、まだ、お隣近所の名前も分からず十分なコミュニケーションがとれている状況にはないということです。従って今後の町づくりの考え方としては、守り続けるべき伝統と、新しく構築すべき文化とを仲良く両立させることと、大切な子供たちに将来の「故郷」を作ってやること

基本になると思います。

そこで今期の課題は、「町づくりのコンセプトをより明確にすると共に、このコンセプトを新旧の会員皆様に共有していただき、皆様方が主役で身近なところから町づくりに参画していただく」ということにしたいと思います。

また、町づくりのキャッチフレーズは、「町田で一番、私の住む町広袴」とし、町づくりのイメージとして別表の五つの柱を挙げたいと思います。

難しく考えることはありません。まずは町内会に関心を持ってください。そしていろいろな行事に積極的に参加してください。また、同好の人たちが集まって、思い切っているいろいろな会を立ち上げてください。失敗を恐れず行動してください。そうすることによっていろいろな人とのふれあいが生まれ、いざというとき支えあい、助け合える町になると思います。町内会は皆様の前向きな活動を全力でバックアップして参ります。

具体的には、総会でもご説明しましたが、以下のような町づくりのイメージを描いています。ここで挙げた町づくりの目標やイメージについて反対される方はいないと思いますので、今後具体的な町内会活動を通じて疑問が出てきた場合は、この原点に戻って判断することにすれば納得いく結論が出ると思います。

町づくりの目標 (キャッチ フレーズ)	町づくりの イメージ (五つの柱)	具体的活動	支援する主な 町内会組織
「町田で一番、 私の住む町広袴」	一 安心、安全な町	自主防災訓練 市民防災訓練 町内防犯パトロール 地震防災対策 その他新たな活動	防災防犯交通部
	二 ご近所の触れあい のある町	広袴便りの充実 町内会ホームページ 立ち上げの検討 各種同好会 有志の会(町内懇親会) ゴルフコンペ その他新たな活動	関連各部
	三 子供、お年寄りを 大切にす町	子ども会、広楽会の支援 市民運動会 盆踊り ドンド焼き 盆踊り 秋祭り子供みこし 親子レクリエーション 広楽会旅行 その他新たな活動	文化部
	四 きれいで清潔な町	クリーンアップデー ワンワンパトロール ごみ減量化 その他新たな活動	環境衛生部
	五 伝統、文化を大切に する町	盆踊り ドンド焼き 神明社秋祭り 作品展示会 その他新たな活動 (広袴歴史散策) (音楽会)	文化部

広袴の町づくりのコンセプト
 (一) 町内会みんなの思い・・・
 「新しく来た人が多いので、日ごろからご近所の

親睦と交流を通じて連帯感を深め、共通する
 色々な課題を協力して解決し、支えあい、ふれ
 あいのある、快適で楽しい町にしたい」

(二) 町づくりのイメージ
 左表五つの柱

平成二十一年度定期総会開催

今年度の定期総会は、四月二十六日(日)午後二時から広袴会館で開催されました。

なお、今期の副会長にしましては、常に精力的で圧倒的体力を誇る本郷さん、人生経験豊富で面倒を厭わない田辺さん、緻密で何事にも前向きな山川さんの三人にお願いし、サポートをしてもらうことにしました。また、各委員、班長さんも張り切っておられますので、会員の皆様の活動の後押しをするに十分な体制を整えております。

また、委員会は開かれていますので、会員の皆様はいつでもご参加ください。一緒にいい町づくりをやっていきましょう。



Yes, we can.

総会資料にあるとおり、各部の活動状況の報告からはじまり、会計報告がなされ、町内会全体の二十年度の活動がすべて報告されました。(会計報告の中で若干の訂正がありました。)

続いて規約についての若干の改正が提案され可決されました。

次に、新年度の事業計画と予算が審議され、原案どおり可決されました。

ここに、旧役員の仕事は終了し、新役員の活動の場となったわけです。夏目新会長以下、二十一年度の委員・班長が発表・確認され、それぞれの所属の部も紹介されました。

終わりに、会館・広楽会・子ども会・消防団の事業・会計報告と今年の事業・会計予算などが報告されました。そしてこれら友好団体の役員さんの紹介がありました。

午後四時、盛況裡に総会は終了し、続いて行われた懇親会で友好の輪はさらに強められました。有意

義な一日でした。



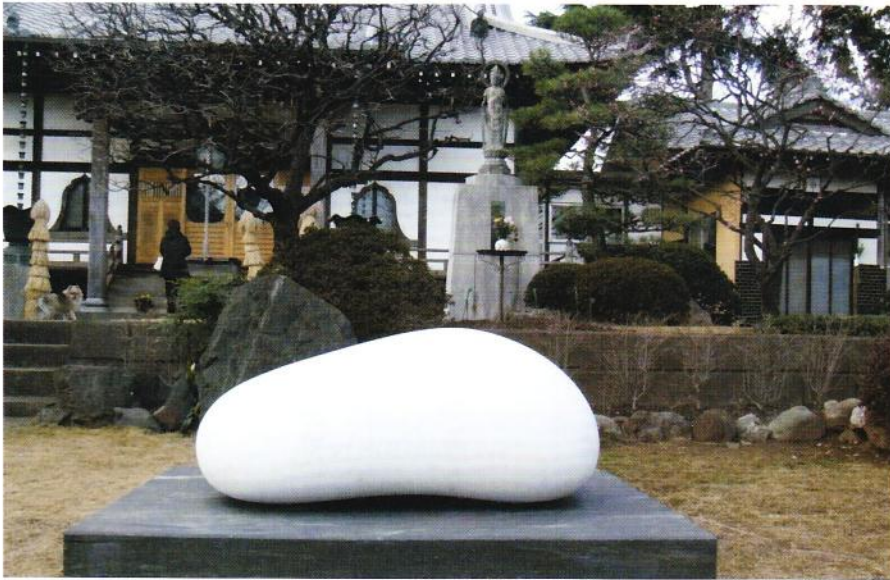
138名の出席



活動報告

妙全院の糸引観音(養蚕信仰)

広 袴の妙全院の本堂前に奇妙な形の白い石が置かれています。私はこのオブジェを見て蚕の繭をイメージしました。というのは、以前からこのお寺に蚕の守り神が祀られていると聞いていたからです。正月のある日、私はご住職を訪ね、このオ



繭玉のようなオブジェ (安田侃 作)

ブジェについて聞きました。予想に反してそれは、安田侃という人の彫刻で檀家の人を通して寄進されたものだそうです。

蚕の守り神について尋ねると、それは糸引観音といい、本堂に祀られているそうです。幸いなことに、ご住職の好意で拝見することができ、写真も撮らせて頂きました。ご住職の話では、養蚕が盛んであった頃は、農家の人々に篤く信仰されていたそうです。時には出開帳として、人の背に負われて近隣の村々を廻ったということでした。全身金色に光った



妙全院の糸引観音

御像から、私は後で述べる養蚕信仰に出てくる金色姫を連想しました。養蚕信仰には、様々な伝説があり金色姫もその一つです。

平成三年三月町田市立博物館で開催された「多摩の民俗、養蚕信仰」展で、金色姫や馬鳴菩薩の塑像や御影を見ました。また、金色姫の由来を詠う「蚕和讃」も紹介されていました。それは野津田町の萩原又イさんの口語りを博物館の方が採録した

ものですが、転載させて頂きます。

かいこわさん

きみようちようらい こかげさん

かいこのゆらいを たづねれば

むかしかみよに はじまりて

てんじくちようじや ひとりひめ

けいぼのねたみに なさけなく

くわのうつろの ふねにのせ

ながれながれて つくばねの

とよらのみなどに とどまりて

すじようさいどの そのため

つくばのかみが あまくだり

かいこのむしと うまれいで

いととりわたとり こたねとり

みちをおしへて はじめこそ

きんめいていの ひめみやは

せいしぼさつの けしんにて

こがいのかみと あらはれる

これこそかいこの

ほんがみなり

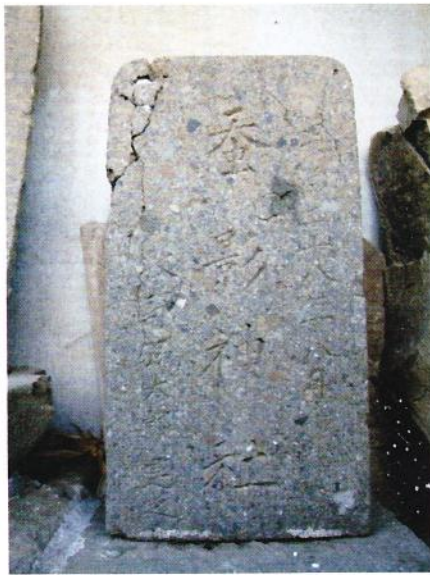
ナミアミ

これに漢字を当てて意識すれば『蚕和讃、帰命頂礼蚕影山、蚕の由来を尋ねれば、その昔「天竺(インド)の長者のひとり姫が、継母の妬で無情にも、桑の木の一つの船に乗せられて、流れ流れて筑波嶺の豊浦(日立市小貝浜)の港に着いた。そして衆生済度のために、筑波の神により蚕の虫と生まれ変わり、糸取りや綿採り、蚕種の取り方などを人々に教えたのが始まりだ。』

また、欽明帝の姫宮は、勢至菩薩の化身で蚕飼いの本神として現れた。南無阿弥』となるでしょう。

この天竺の姫の物語が金色姫伝説です。

豊浦に流れ着いた金色姫を助けた漁師の権大夫が、姫の御霊を中心に、左右に富士、筑波の神を祀って、蚕影山大権現と称し、これが後に蚕影山神社（つくば市神郡）となったという。豊浦は日立市の小貝浜だといわれ、そこに蠶養神社があります。和讃の「帰命頂礼 蚕影山」とは、この神社のことです。関東一円の養蚕農家の信仰を集めたようです。市内にも「蚕影神社」の石碑がいくつかあります。聞くところに寄れば、隣の黒川村では最近まで和讃講があつて、例年二月の初午の日に、お神酒や団



市内山崎で見かけた蚕影神社石

子などご馳走を供えて、和讃を唱えたということです。

広袴でも糸引観音の前で、このような和讃が詠われたかどうか知りませんが、知っている方がおられ

たら教えて下さい。

素人考えですが、金色姫の起源は「先蚕」にあるのではないかと思われます。「先蚕」とは、中国伝説上の「黄帝」の妃で、養蚕を普及した神といわれています。そして金色姫が、何でも願いを叶えてくれる観音の姿として顕れたのが糸引観音ではないでしょうか。

また、金色姫とは別の養蚕伝説に馬頭娘婚の話があります。そのひとつ「おしらさま」は柳田国男の遠野物語に出てきますが、馬と娘の結婚話の中から蚕の起源を伝えるものです。

似たような話は中国にもあります。写真は、中国、無錫市の呉文化公園の展示館での馬頭娘伝説の掛軸です。右から順に、次のように書かれているようです。



- 一 ある村に父と娘が、白馬と暮らしていた。
- 二 ある時、父が崖から落ちて、娘は泣いて口が利けなくなつた
- 三 娘は「誰かお父さんを助けてください。私は父を助けた人に一生仕えます。」
- 四 すると、白馬が父の命を救い、娘は白馬と一緒にならなければなくなつた。

五 「人と馬が一緒になることは許さない」と天

は怒り、雷を落とした。

六 娘は白い玉のような蚕となり、蚕の頭部には馬の蹄のような跡がのこつた。

このような、蚕の伝説に娘と馬の婚姻が関わっている原型は、二千年も前の中国の伝説集「搜神記」の中にあるそうです。

養蚕の主体が女性の仕事であつたこと、人と馬の関係が密接であつたこと、そして蚕の頭に見られる斑紋が馬の蹄に似ていることなどから、娘と馬を結びつけたものと思われます。そして馬に乗る女性の形で現れたのが、馬鳴菩薩や蠶玉神ではないでしょうか。



蠶玉神（長野県）

台座に蠶玉神とかかれている。頭には繭玉と思われるものが載っているし、胸にかけているのは、蚕が繭を作るための枠「まぶし」と思われます。右手に持っているのは桑の木でしょう。

九月八日八時、朝日に輝く広袴会館前を出発して、一路大会会場へと向かった。

「予選ラウンド・野津田公園グラウンド」

主催 町田市老連鶴川支部

参加 各町を代表した三十四チーム

広楽会チームのメンバーは、(敬称略)

監督 森 吾一

一番 大嶋 孝之

二番 高野 欽也

三番 吉川 市郎

四番 森 君男

五番 吉川 清

六番 佐々木 稔

グラウンドゴルフのルールを簡単に説明しますと、土のグラウンドに二十五メートルから八十メートルの距離で、アウト・インが八ホールずつあります。ホールは、直径四十センチの太い針金の円で、それをめがけて木製のパターで、パットをします。ボールは玉子を丸くした大きさで、木の玉です。各ホールパー三を基準に競います。一ラウンド回り、六人のスコアが少ない方が勝ちです。ゴルフのグリーンでのプレーを参考にすると分かりやすいでしょう。

「侍！広楽会チーム」の選手は、嬉々としたプレーで見事五位以内に入り、本大会出場チームに選ばれました。なお、最も難しいホールインワンは二回あり、吉川市郎選手と吉川清選手でした。

十一月十八日七時、朝だ、太陽の光が広袴会館に煌めき渡っているとき、「侍！広楽会チーム」のメ

ンバーは、友愛の絆に結ばれ本大会へと馳せ参じました。

「本大会ラウンド・木曾山崎グラウンド」

主催 町田市老人クラブ連合会

参加 全市五ブロックより選抜三十二チーム

広楽会チームは、予選ラウンドと同じメンバーで出場です。

選手の方々は、グラウンドの状況をよく把握して冷静に、大胆にプレーしていました。その結果、第五位に入賞し、優勝トロフィーを授与されました。なお、ホールインワンは、五回あり、大嶋選手三回、高野選手・佐々木選手各一回で、一人三回は新記録だそうです。

思い返して、週一回炎天下の練習、会員の励まし、町内会員の期待などが選手を鼓舞して優勝トロフィーを獲得できたと思います。

選手の皆様、ご苦勞様でした。関係者の方々ご配慮有難うございました。また、来る二十一年の大会も頑張りたいと思っております。

【広楽会 大嶋 孝之】



子ども会資源回収のお願い

平成二十年度は、資源回収にご協力いただきありがとうございました。

おかげさまで、一年間で三十三万八千五百二十円もの奨励金を町田市より頂くことができ、子ども会にとつては大きな財源となりました。

今後も、毎月二回の資源回収を行ってまいりますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

特に、アルミ缶、新聞は奨励金単価が高いので、ご協力下さい。

回収日 毎月第二・第四月曜日

*朝八時三十分までにお出し下さい。

*雨天の場合、古着・布類の回収はありません

*祝日でも回収します。

回収場所 各ご家庭の前

*「子ども会」と大きく書いて下さい。

回収予定 九月までの予定をお知らせします。

六月二十二日(月)

七月 十三日(月)、二十七日(月)

八月 十日(月)、二十四日(月)

九月 十四日(月)、二十八日(月)

*詳細はブログ等でお知らせします。

【子ども会】

耳寄りなお話

一 町田市コールセンター

市の業務や手続き、公共施設案内、市が主催または関係するイベント情報など、オペレーターが答えます。

市役所のこと以外でも、市内公共機関の一般的な業務、休日診療医、パスポートの取得方法など、困ったとき、どこに聞いたら良いか分からないときは気軽に電話することができます。コールセンターでは、できる限り調べて答えてくれます。

受付時間 午前七時

午後十一時 年中無休

電話 〇四二(七二四)五六五六

FAX 〇四二(七二四)五六〇〇

町田市ホームページでよくある質問が検索できます。

【広報部】

二 ブログの立ち上げ(試験)

<http://hirohakama.at.webry.info/>

右記のアドレスを入力してみてください。見出しは、「広袴町内会(広報部)」です。今後の予定や各分会からのお知らせを見ることができます。更新は、各分会等から情報が入ります。掲載記事等をご希望の方は、

広報部まで連絡をお願いします。

【広報部】

三 ピアノを習いたい・上達したい方

鶴川第四小学校の近くにあるピアノ教室です。教室は、出張レッスンの他、無料体験レッスンも行っております。

また、発表会を九月二十二日(火)「青少年施設ひなた村 カリヨンホール」で開催します。鑑賞を希望される方は、お問い合わせ下さい。生徒さん募集中です。

電話 〇四二(七三七)一〇八五

【十五組B班 岡田 光司】



広報部長
副部長
編集人

金子欣三
井上好信
榎並利晃
吉田雅一
杉島健次
坂入清之
瀬口賢一
岡田光司
甲斐敬二